



府中緊急派遣村と地域相談会

松野哲二(府中緊急派遣村共同代表)

私たちの初心と原点は、2008年末の「年越し派遣村」に学び、これを地域で日常化することです。2009年3月に最初の相談会を開きました。リーマンショックで派遣切りの最中、府中公園の炊出しに失業者が並び、「明日解雇される」という労働者が2人いました。解雇撤回のために「府中緊急派遣村労働組合」をその場で結成しました。翌日、府中市役所に10人の生活保護申請の同行、解雇を強要する2つの会社に団体交渉の申し入れをして、相談会から解決への道を開きました。

2020年4月の「府中コロナ困りごと相談会」には女性からの相談も多く、「主婦パート」のシフト削減や解雇で生活が立ち行かなくなる方や、DVの相談もありました。他市の困窮者支援の活動をしている方、市議員が応援に来てくれました。この方たちが担い手となって、相談会は国立、多摩、立川、狛江、八王子、日野、調布とつながり、「地域横断連続コロナ困りごと相談会」となりました。調布では昨年11月23～24日に行いました。

弱者切り捨ての政治は、貧困と格差拡大を一層深刻にさせています。各地域から困りごとと解決力の連携を作り、誰もが切り捨てられない地域を、その主体を作っていく必要があります。その一助として「報告集」を作りました。ぜひ手に取ってご活用ください。

※『多摩7市コロナ困りごと
相談会報告集』

頒価500円、送料300円
(手数料込)

ご注文は、0903857557 松野
まで直接お願いします。



おしゃべりカフェ



日時：1月29日(土)14:15～15:45

場所：あくろす 3F 会議室 3 または zoom

※zoom 参加ご希望の方には、事前にメールで
リンクをお知らせします。感染拡大状況によつて
は zoom のみとなります。

参加費：無料

主催：調布・生活者ネットワーク

電話・メール申込み：1/26(水)まで

042(487)3087(平日のみ)

waku2seikatasha@mpd.biglobe.ne.jp

(平日のみ)

オンライン申込み：1/28(金)まで

<https://j.mp/3zozwbd>



家族介護者を孤立させないために

～家族介護を考える集いに参加して～



ケアラーとは、介護や看病、療育が必要な家族や近親者を無償でサポートする人のこと。近年、高齢者だけでなく、若年認知症、心身に障がいのある家族、引きこもり、さらに8050問題のように世帯に困りごとを抱えた方が複数いるなど、ケアの対象は多様化し、ヤングケアラーのような問題もクローズアップされてきました。

そうした課題について、様々な団体が知恵を出し合おうと、12月12日、東京ボランティア・市民活動センター主催の集いが開催されました。

中でも元ヤングケアラーの事例紹介では、後から知的障害があると診断された母親や家族との生活が赤裸々に語られ、衝撃を受けました。その中で、必要と思うものや支援について、世間の正しい理解、障がいがある親を預けられる場所、複数の手助け、子どもが生まれる前の対策(伴走型の妊婦健診)など、貴重な提言がありました。

その他、男性介護者や引きこもりの家族会の事例紹介、ケアラー同士のつながりを広げるための取り組みについて報告がありました。「介護の存在を見える化」すること、それによって世間の理解を得ること、既存の制度を改善する、あるいは制度を補う地域の支え合いが重要です。さらに、部署が連携した行政の相談窓口も必要だと感じました。

HPV(子宮頸がん) ワクチン学習会

日時：2月6日(日)14時～16時

場所：あくろす 3F 研修室2 または zoom

※zoom参加ご希望の方は、事前にメールで
リンクをお知らせします。感染拡大状況によっては
zoomのみとなります。

講師：はたもこさん(薬剤師・前参議院議員)

参加費：無料

主催：調布・生活者ネットワーク

問合せ先：042(487)3087

メール：waku2seikatasha@mpd.biglobe.ne.jp

申込みサイト：<https://j.mp/3EPmyei>

申込締切：電話・メールは2/2(水) サイトからは2/5(土)

内容：

- ① HPVや子宮頸がん、ワクチン効果の基本的なこと
- ② 副反応について(症状・対応・国の救済措置など)
- ③ 子宮頸がん予防

※接種対象のお子さんにも分かりやすく
お話しさせていただきます。
親子でご参加ください！

